

JIS A2102-1 窓及びドアの熱性能—熱貫流率の計算— 第1部：一般
JIS A2102-2 窓及びドアの熱性能—熱貫流率の計算— 第2部：フレームの数値計算法
新JIS制定・窓の断熱性能表示制度に伴う取扱いについて

20110401作成

新JIS（計算法JIS）についての考え方

建物の高断熱化に伴い、窓の断熱性能が建物全体の熱性能に大きく影響します。
窓の熱性能は単純に、ガラスとフレームの熱性能の和にならないことから、今回、熱貫流率の計算法が制定されました。
これにより、窓サイズに応じた熱性能の評価が可能になります。

窓の断熱性能評価手法（計算法）2011/03時点

JIS規格 : JIS A2102-1, -2 (IS010077に準拠)

性能評価ツール : WindEye

窓の総合熱性能評価プログラム
社団法人リビングアメニティ協会

新JIS（計算法JIS）の適用範囲

計算に含まない項目

- 日射の影響
- 漏気による熱移動
- 結露の計算
- 二重窓及び結合窓における中間空気層の換気
- 屋根部、底部が現場で工作される出窓の周辺部

窓の断熱性能表示制度について 公布：平成22年5月24日 施行：平成23年4月1日

断熱商品の「省エネ建材等級ラベル」は、「窓ラベル」「サッシラベル」「ガラスラベル」を一本化され、ラベル表示は「窓ラベル」に変わります。



省エネ建材等級表示方法（窓）について

- 等級区分：開口部基準の熱貫流率にて4つに区分されます
- 窓の熱貫流率の測定方法は、JIS A4710-2004「建具の断熱性試験方法」に準拠
- 断熱性の高さは、4つの★マークの塗りつぶしにより段階別に表示
- ラベルの貼付については窓製造メーカーや窓の組立事業者などが行います

表示区分	窓			
	熱貫流率 2.33以下	熱貫流率 2.33超～ 3.49以下	熱貫流率 3.49超～ 4.65以下	熱貫流率 4.65超
等級記号	★★★★	★★★★☆	★★★☆☆	★★☆☆☆
断熱性能	高 ←————— → 低			

- 等級記号の★1つのラベル貼付については協会加盟各社の自主判断で貼付されない場合があります
- 玄関ドア・玄関引戸・勝手口ドア・勝手口引戸についてはラベル貼付しません
- 同じ使用のガラスを使用しても窓のサイズ(面積)により断熱性能は異なる場合があります。そのため、同じ窓でもサイズにより、等級記号が異なる場合があります
- ◎ 熱貫流率は新JIS（計算法JIS）による値となります

● 開口部の熱貫流率U値について

開口部U値に関し、「仕様U値」「計算U値」の2通りの値を適用することができます。
1つの住宅の中で「仕様U値」「計算U値」を混在して使用しても構いません。

仕様U値
(従前)

「住宅の省エネルギー基準の解説」に記載されている開口部サイズに拠らない開口部の仕様U値試験によりU値を求めた場合も含まれます

計算U値
(追加)

新JIS(計算法JIS)に基づく、サイズ・枠断面及びガラス仕様等により値が変わる開口部の計算U値使用する開口部のサイズ等に応じた個別の計算値となっており、構造計算等におけるこれまでの取扱いと同様にすべての計算過程が確認できることが原則となります